

Ansible Automation Platform を使用して AWS に移行する



クラウドリソースのライフサイクルを自動化

Ansible 自動化を使うことにより、クラウドワークフロー全体を自動化できます。AWS では次のことが可能です。

- ▶ Web アプリケーションのデプロイと移行
- ▶ カスタム Amazon Machine Image の作成
- ▶ 孤立インスタンスの管理
- ▶ インターネット・ゲートウェイの接続解除と削除
- ▶ AWS CloudTrail の構成
- ▶ 接続の問題のトラブルシューティング

これらのユースケースについて詳しくは、この概要をご覧ください。

ハイブリッドクラウド環境全体でワークロードを移行および管理

ビジネスクリティカルなアプリケーションをクラウド環境にデプロイすることは、今や当たり前になっています。それでも、クラウドへの移行や、ハイブリッドクラウド環境でのワークロードやリソースの管理は、手作業で行うと大変で時間がかかる上、ミスが発生しがちです。クラウドの自動化 (IT 自動化をクラウド・テクノロジーに適用する) は、クラウドへの移行とクラウド環境の広範囲にわたる管理をより効率的に行うのに役立ちます。

クラウドの自動化により、自社の環境全体の IT ライフサイクルを管理するためのワークフロー全体が効率化されます。ビジネスが必要とする環境、システム、アプリケーションを自動的にセットアップし、移行することで、クラウドリソースをオーケストレーションします。環境の稼働を維持するための Day 1 および Day 2 のタスクを自動化することで、継続的なクラウドプロセスを運用化します。すべての要素がビジネス要件に従って実行されるようにするため、大規模にポリシーを適用および実施することによりクラウド環境を管理します。

Red Hat® Ansible® Automation Platform on Amazon Web Services (AWS) を使用することにより、プライベートクラウド、オンサイトデータセンター、エッジロケーションなど、環境全体にわたってワークロードとリソースをオーケストレーション、運用、管理し、一貫した自動化エクスペリエンスを提供できます。

Ansible Automation Platform で AWS クラウド環境をオーケストレーションする

クラウドプロバイダーやその他の IT テクノロジーと連携できる統合自動化プラットフォームは、効果的なクラウドワークフローの移行と管理の中核になるものです。[AWS での Ansible Automation Platform](#) は AWS Marketplace からデプロイでき、既存のアプリケーションの AWS への移行を高速化し、ハイブリッドクラウド環境全体の IT ワークロードおよびリソース管理を単純化します。

[Ansible Automation Platform](#) はエンタープライズ向け IT 自動化ソリューションで、自動化を大規模に構築し、デプロイし、管理するために必要なすべての機能が備わっています。シンプルな自動化言語により、高度なワークフローを作成し、組織全体で自動化資産を共有して管理できます。Elastic Compute Cloud (EC2) や CloudFormation などのネイティブ AWS サービスや AWS 向けの [Ansible Content Collections](#) と統合でき、短時間で運用を開始することができます。100 近くのモジュールが登録されているライブラリを活用して、AWS 運用を直接自動化できます。さらに、オペレーティングシステム、ネットワーク・インフラストラクチャ、アプリケーションがどこにデプロイされていても管理するのに役立つ 1,300 のモジュールが提供されています。

Ansible Automation Platform の一部である [Event-Driven Ansible](#) を使用すると、ユーザー定義のルールベースのコンストラクトを介して環境で観察されたイベントにตอบสนองして、IT アクションを自動化できます。サードパーティ製ツールからの通知を受信し、ルールに基づいたアクションを決定し、Ansible Playbook を使用して自動的にตอบสนองします。Event-Driven Ansible を使用すると、IT 環境全体にわたる幅広い複雑なユースケースに対して、エンドツーエンドで完全に自動化されたワークフローを作成できます。

Red Hat はこのサブスクリプションベースのセルフマネージド型ソリューションを Premium サポートレベルでサポートし、お客様は経験豊富なテクニカルサポートエンジニアのグローバルネットワークに 24

時間 365 日無制限でアクセスできます。そして AWS は、お客様のクラウド・インフラストラクチャに対してエキスパートによるサポートを提供します。Ansible Automation Platform と他の AWS サービスの請求が統合されるため、コストを完全に可視化できます。また、AWS Enterprise Discount Program (EDP) の資金や割引を Ansible Automation Platform デプロイメントに利用できます。



[Red Hat Ansible Certified Content](#) について詳しく読む

Ansible Certified Content で自動化を単純化する

[Ansible Amazon AWS Certified Content Collection](#) は、Ansible Automation Platform と AWS を統合するため、IT ドメインやテクノロジーにまたがるデプロイメント全体を自動的に管理できます。[Ansible Automation Hub](#) を介してアクセス可能なこの事前構成済みのコンテンツには、EC2 インスタンスの作成と管理、EC2 Auto Scaling Group (ASG) の監視、EC2 セキュリティグループの保守など、多くの一般的な AWS 運用を Ansible Automation Platform から直接自動化するためのモジュール、ロール、プラグイン、ドキュメントが含まれています。このコレクションを使用して、Red Hat が開発、テスト、サポートする信頼できるコンテンツに基づき、高度な自動化ワークフローを構築します。また、Red Hat は、すべての [Red Hat Ansible Certified Content](#) コレクションに含まれる、ユーザーに直接自動化を提供する自動化アセットを主要な製品リリースとは別に維持およびリリースしているため、お客様は最新の機能とコンテンツをすぐに使い始めることができます。



[AWS 自動化ワークフロー](#) の検証済みコンテンツと Playbook の例を見る

Ansible 検証済みコンテンツの使用を開始する

[AWS 向けの Ansible 検証済みコンテンツ](#) は、AWS 環境での自動化ワークフロー構築のためのエキスパートによるガイダンスを提供します。Playbook、ロール、ドキュメントとして提供される検証済みコンテンツは、Red Hat Ansible Certified Content に基づいた、カスタマイズ可能な独自のユースケースを提供します。Red Hat が Ansible 検証済みコンテンツを精選し、すべてテストします。コンテンツは、プライベート Automation Hub (自動化資産を保存し、アクセスを制御するためのリポジトリ) にロードすることができます。

ここでは、AWS 向けの Ansible 検証済みコンテンツによるカスタマイズと自動化が可能な多くのユースケースの中からいくつか例を紹介します。

AWS での Web アプリケーションのデプロイと移行

[webapp](#) Playbook を用いて、複数の AWS リソースを使用する複雑な Web アプリケーションをデプロイし移行することができます。デプロイ先または移行先のリージョンを指定すると、Ansible Automation Platform は Playbook に従って必要なインスタンスの要求、アプリケーションデータの移動、未使用リソースの解放を行います。

カスタム Amazon Machine Image の作成

[customized_ami](#) ロールにより、カスタム Amazon Machine Image (AMI) を簡単に、また整合性を保って構築し管理することができます。AMI 名とインストールするパッケージのリストを設定すると、Ansible Automation Platform は構成可能なオプションに基づいて AMI を作成、更新、または削除します。

AWS の孤立インスタンスをタグで管理

仮想マシンのスプロールを管理するには、[ec2_instance_terminate_by_tag](#) ロールを用いて、特定のタグを持つ EC2 インスタンスを終了することができます。key-value ペアを指定すると、Ansible Automation Platform は一致する EC2 インスタンスを自動的に終了するため、クラウドリソースの使用を制御できます。

AWS インターネット・ゲートウェイの接続解除と削除

[awsconfig_detach_and_delete_internet_gateway](#) ロールを用いて、Amazon Virtual Private Cloud (VPC) からインターネット・ゲートウェイを安全に切り離し、削除することができます。インターネット・ゲートウェイ (IGW) ID を構成すると、安全であることが確認された後、Ansible Automation Platform がゲートウェイを自動的に削除します。



完全に自動化されたハイブリッドクラウドのワークフロー構築について、詳しくは [eブック「ハイブリッドクラウドを大規模に自動化」](#) をご覧ください。

マルチリージョン AWS CloudTrail の構成

ユーザーのアクティビティを追跡し、AWS とハイブリッドクラウド全体で使用できるようにするには、[awsconfig_multiregion_cloudtrail](#) ロールを使用すると、複数リージョンの [CloudTrail の作成と構成](#) が可能になります。ログを保存する Amazon Simple Storage Service (S3) バケットを指定すると、Ansible Automation Platform が AWS インフラストラクチャ全体にマルチリージョン CloudTrail を自動的にセットアップします。

AWS CloudTrail 暗号化の構成

[enable_cloudtrail_encryption_with_kms](#) ロールを用いて、CloudTrail ログファイルに対して直接管理可能なセキュリティレイヤーを有効にすることができます。暗号化する CloudTrail の名前と AWS Key Management Service (AWS KMS) カスタマー管理キーを指定すると、Ansible Automation Platform が CloudTrail ログファイルのサーバー側の暗号化を構成します。

Amazon Relational Database Service 接続のトラブルシューティング

EC2 インスタンスからの Amazon Relational Database Service (RDS) 接続に問題がある場合、[troubleshoot_rds_connectivity](#) ロールがトラブルシューティングと問題の原因の特定に役立ちます。EC2 インスタンスと RDS インスタンスを指定すると、Ansible Automation Platform が接続の問題を自動的に診断し、データベース・インスタンスが利用可能であることを確認し、関連するセキュリティ・グループ・ルール、ネットワーク・アクセス・コントロール・リスト (ACL)、ルートテーブルに潜在的な問題がないかどうかを確認します。

Amazon Virtual Private Cloud の接続の問題のトラブルシューティング

[connectivity_troubleshooter](#) ロールは、VPC の接続の問題を効果的に診断するのに役立ちます。必要な IP アドレスとポート番号を構成すると、Ansible Automation Platform は、同じ VPC 内の AWS リソース間、またはピアリング経由で接続された異なる VPC 間の接続の問題、インターネット・ゲートウェイまたはネットワークアドレス変換 (NAT) ゲートウェイを使用した AWS リソースとインターネットリソース間の接続の問題を自動的に調査します。

さらに詳しく

Ansible Automation Platform を使用して AWS デプロイメントやハイブリッドクラウド環境を自動化する方法について詳しく学びましょう。[Ansible Automation Platform と AWS](#) の統合についてお読みになり、[インタラクティブラボ](#) でさまざまなユースケースをお試しください。



Red Hat について

エンタープライズ・オープンソース・ソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、既存および新規 IT アプリケーションの統合、複雑な環境の自動化および運用管理を支援します。[受賞歴のあるサポート](#)、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、[フォーチュン 500 企業に信頼されるアドバイザー](#) であり、オープンな技術革新によるメリットをあらゆる業界に提供します。Red Hat は企業、パートナー、およびコミュニティのグローバルネットワークの中核として、企業の成長と変革を支え、デジタル化が進む将来に備える支援を提供しています。

[fb.com/RedHatJapan](#)
[twitter.com/RedHatJapan](#)
[linkedin.com/company/red-hat](#)

アジア太平洋 +65 6490 4200 apac@redhat.com	インドネシア 001 803 440 224	マレーシア 1800 812 678	中国 800 810 2100
オーストラリア 1800 733 428	日本 03 4590 7472	ニュージーランド 0800 450 503	香港 800 901 222
インド +91 22 3987 8888	韓国 080 708 0880	シンガポール 800 448 1430	台湾 0800 666 052